

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第5期第7回相模原市緑区区民会議				
事務局 (担当課)		緑区役所区政策課 電話042-775-8802(直通)				
開催日時		令和元年6月8日(土) 10時00分～12時00分				
開催場所		緑区合同庁舎 集団指導室				
出席者	委員	18人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	8人(緑区長、緑区副区長、緑区役所区政策課長、他5人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 緑区基本計画の答申案の作成・検討について 3 その他 4 閉会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は会長の発言 は委員の発言 は事務局の発言)

1 開会

牧瀬会長の司会進行により議事が進められた。

会議の成立要件を満たしている旨の報告、会議の公開、配布資料の確認を行った。また、傍聴希望者の報告を行い、傍聴を許可することとした。

2 議題

(1) 緑区基本計画の答申案の作成・検討について

前回の、「緑区基本計画における将来像の実現に向けた施策展開の視点について」の意見交換を踏まえ、今回は、施策分野別に区の目指す姿及び取組方針について、素案を基に意見交換と内容確認を行った。

なお、意見交換にあたっては、これまでの区民会議や各地区のまちづくり会議などで出されたそれぞれの課題等に対し、目指す姿及び取組方針を検討することとした。

【取組方針】 施策分野 子ども・教育について

子ども・教育の施策分野については、それぞれの現状や今後の取組について意見交換をするとともに、取組方針の見出しについて協議した結果、次のとおり、案とすることとした。また、意見交換の中でポイントとなった「地域力」「教育力」を踏まえたサブテーマを検討することとした。

取組方針 緑区で育てあう、学びあう、まちづくり

(主な意見交換の内容)

子育て世代の方が生活する場を検討する際は、子育て環境や学校教育の環境をはじめ、交通手段などを含めた生活環境が判断材料になる。

津久井地域はやはり、自然と共生した、子育てをしやすいまちづくりを目指すと思う。

取組項目で示している内容は、抽象的な表現となるが、区の基本計画における取組方針としては、集約した内容で良いと思う。

教育の部門としては、学校の教育だけではなく、子どもが育っていく地域の方々皆で考えていく必要がある。

少人数の小学校では、地域の方と関わりが強く地域の方と田植えや学校農園を通して交流しており、この活動はとても良い教育になっているので大切にしたい。

子どもの居場所・集える場所の確保や子育て支援体制の充実については、環境の整備が必要な場合もあるが、情報交換や啓発活動も効果的だと思う。

緑区については、各地区によって現状や課題が異なっていると思うので、実際には各地区にあった取組が必要になってくると思う。

各地区によって異なる環境があるので、各地区が持つ地域の教育力を最大限に生かすことが効果的ではないか。

親が子を育て教育するとともに、親も子育てをしながら学んでいくものであるので、親を支援する体制も大切だと思う。

子育てにしても、教育にしても地域の方々とともに育てあい、学びあっていく環境が大切だと感じる。

PTAの今年のスローガンを「ともに育む大人の背中」とし、皆で学び合うことや教えあうことを大切にしてほしいとの思いで活動している。

地域に根ざした伝統芸能の支援としては、各地区の素晴らしい伝統文化・芸能を次の世代に伝えていく様々な活動を推進し、活動が継続されると良いと思う。

生涯学習の活動拠点として公民館機能の充実は必要と感じるが、まず、公民館の利用方法等について、より利用しやすくし、集いやすい場となるよう検討が必要ではないか。

【取組方針】 施策分野 共生・健康について

共生・健康の施策分野については、それぞれの現状や今後の取組について意見交換をするとともに、取組方針の見出しについて協議した。

なお、この施策分野については、引き続き意見交換をすることとした。

(主な意見交換の内容)

健康となると高齢者にかかる医療体制や見守り体制など、対象が課題によって限定されやすいが、皆が共通で必要となるような対策や充実させるための推進体制などを検討していくと良い。

団体名は様々な団体関わっているので、具体的な名称は出さず、地域福祉の担い手として整理したほうが良い。

高齢化に伴って、独居高齢者が増加しているので、見守る活動や健康を維持する活動が継続されると良い。

孤立させないまちづくりを考えていくと良い。

中山間地域の医療体制が変わっていくと思うので、ポイントにすると良い。

緑区の豊かな自然を生かした未病対策を考えていくべき。

高齢者の交通手段は大きな課題となるとしているので、やさしい交通ネットワークを取組の中に入れて良い。

担い手については、次世代の方々に関わってもらう必要があるので、次世代の方々の参加や教育について考える必要がある。

これからは更に地域で助け合う仕組みが必要になると思うので、システムを構築していく支援を考えるべき。

地域医療として在宅医療を熱心に推進している医師がいるが、地域では、どう関わり、支援していくかを課題としている。今後とても大切な医療体制のひとつとなると思うので、医師の話聞く機会が設けられれば良いと思う。

緑区に住むと健康になるイメージを与えたい。緑区の特徴である自然を生かして健康づくりができるが良い。

畑を活用した健康づくりのシステムを作るなど、緑区の良い部分を生かして行きたい。

健康・医療・福祉・高齢者・障害者についても、子ども・教育の分野と一緒に、地域や自治会などの活動が大切であり、それぞれ身近な体制が重要となるので、この体制の充実を図るための支援を考えていきたい。

次回も引き続き、施策分野別の取組方針等について意見交換をしていく。

3 その他

今回の会議は、令和元年7月13日(土)午前10時から開催予定。

4 閉会

相模原市緑区区民会議委員出欠席名簿

(順不同・敬称略)

区 分	氏 名	所 属 団 体 等	出欠席
まちづくり会議	安藤 和実	橋本地区まちづくり会議	出席
	大貫 勲	大沢地区まちづくり会議	出席
	大参 正人	城山地区まちづくり会議	出席
	落合 勝司	津久井地区まちづくり会議	出席
	長谷川 兌	相模湖地区まちづくり会議	出席
	宮野 善三郎	藤野地区まちづくり会議	出席
関係団体	中山 光明	相模原市自治会連合会	出席
	今井 俊昭	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会	出席
	中里 浩章	相模原市立小中学校PTA連絡協議会	出席
	原 正弘	相模原商工会議所	出席
	奈良 哲弥	津久井地域商工会連絡協議会	欠席
	吉野 賢治	一般社団法人 相模原市観光協会	欠席
	飯塚 侑	公益社団法人 相模原青年会議所	欠席
	渡邊 博明	公益社団法人 津久井青年会議所	欠席
	佐藤 鉄郎	相模原市既存住宅リフォーム・改築推進協議会	出席
	小稻 香穂	あざおね社中	出席
学識経験者	牧瀬 稔	関東学院大学	出席
	関司 直也	法政大学	欠席
区民	高橋 朋樹	公募委員	出席
	齊藤 賢一	公募委員	出席
	池田 眞弓	公募委員	出席
民間事業者	山本 篤史	株式会社KADOKAWA	出席
	道本 晃一	相模湖リゾート株式会社	出席
	高堂 智佳	東日本旅客鉄道株式会社	欠席
	中原 正貴	神奈川つくい農業協同組合	欠席

は会長、 は副会長